

平成 2 4 年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	7 7		学校名	県立下館第二高等学校			課 程		全 日 制		学校長名		飯 塚 弘 之			
教 頭 名	高 橋 郷 史									事務（室） 長名		小 栗 幸 子				
教職員数	教諭	4 4	養護 教諭	1	常勤 講師	5	非常勤 講師	3	実習教諭、実習講 師、実習助手	1	事務職員	3	技 術 等 職 員	4	計	6 4
生 徒 数	小学科		1 年			2 年			3 年			合計		合計クラス数		
			男	女	男	女	男	女	男	女						
	普 通 科	1 0 4	1 7 6	1 2 0	1 5 9	1 1 7	1 5 7	3 4 1	4 9 2	2 1						

2 目指す学校像

精神的にも身体的にも大きく成長する高校の3年間を、文武両道を目指にバランスのとれた人間の育成に努める。
自発的な学習意欲や内発的規制による制服着用を目指し、志を高く持ち、途中で諦めない精神力の醸成を図る。
マナー、絆、助け合うことの大切さ等、道德教育の推進を図る。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項 目	現 状 分 析	課 題
学習指導	発展的な学習をこなせる生徒がいる反面、基礎学力の定着度や学習意欲が不十分な生徒がいるなど、生徒間の学力や学習意欲に差がある。	基礎学力定着の創意工夫や自主的学習習慣の育成をどう進め、学力の個人差に応じた指導を工夫する。
特別活動	今年度から文化祭が7月実施となったが、ホームルームの活動内容、文化祭等の企画内容に工夫が乏しい。部活動加入率は上昇してきたが、活力が乏しい。	生徒の自主的、自発的な取組と創意工夫を推進するとともに、部活動加入率を70%以上とする。
進路指導	生徒の進路希望が多方面に分かれている。大学進学希望者が多いが、第一志望の達成率は高くない。	生徒の進路実現を推進する。
生徒指導	登下校のマナーが若干問題になっている。また、服装や頭髮の乱れも若干みられる。冬季には、遅刻者がやや増加する。	交通マナーアップを推進し、規範意識の高揚と規律ある生活の指導を工夫する。
第1学年	進路目標が不明確で進路に関しての知識が不足している生徒が多い。また、学習意欲や意識が低い生徒もいる。	具体的進路目標の確立を進め、学習意欲を喚起する。

第2学年	200名以上の生徒が大学進学を希望しており、進路希望実現のためには、さらなる成績の向上を要する。 自己の判断に基づいて主体的に行動する力が不十分である。	基礎学力の定着と進路指導の充実を図る。また、部活動や学校行事に主体的に参加できるようにする。
第3学年	8割の生徒が大学進学を希望している中、進路希望実現のために成績の向上が必要である。 進路研究が不十分なため、目標が明確でない生徒がみられる。	授業への集中と課外の定着を図り、学習意欲を向上させる。 面談やHR等を活用し、個に応じた情報提供ができるようにする。

4 中期的目標

1	家庭学習の充実と授業や課外への積極的な参加。また、進路を実現させるための学力の向上。読書や様々な体験を通し興味・関心を高め、知的財産を育む。
2	体だけでなく、心も鍛え、物事を最後まで諦めないで頑張ることの出来る、生きる力を育む。マナー、命の尊さ等心の教育の充実。
3	各行事を通して、友達と協力し、一つのことを成し遂げるための苦労や達成することの喜びを体験し、多くの親友をつくる。
4	人間としての在り方生き方を考えさせ、個々の職業観や進学意識の育成を図る。
5	面接や日常の会話を通して、生徒の悩みや非行等の早期発見に努め、保護者や地域との連携を密にして、迅速・適切な対応を図る。基本的生活習慣の確立や、校内外を通してきちんとした制服の着用および挨拶の励行。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
・学習意欲の高揚と学力の向上	各教科の特性に応じて、公開授業を含めた授業研究や生徒の実態に応じた選択授業（習熟度別授業等）などを行い、教科指導の工夫・改善・充実を図る。
・生徒指導の総合的推進と「心の教育」の充実	挨拶や清掃を励行し、遅刻や欠席について対前年比10%減を目指し、正しい服装や基本的な生活習慣の確立を図る。また、交通安全教育を推進し、交通事故の絶無に努める。
・キャリア教育の充実	進路情報を充実させ、ホームルームにおける進路指導及び進路講演会等を通して、望ましい職業観・勤労観の育成を図り、進路希望の達成率を高める。
・環境教育の充実と特別活動の活性化	学校行事や清掃美化および緑化活動を通じて奉仕の心や環境保全の意識を高める。生徒会活動や部活動を通して社会性を高め、豊かな情操を養い、明るく活力ある学園づくりを目指す。部活動加入率70%以上を目標とする。
・「道徳」教育の充実と「生きる力」の育成	自己の尊厳を深く自覚するとともに、善悪を正しく判断し、自分の行動に責任を持てるよう「道徳」教育の充実を図る。 “下館二高3Aプラン(Access, Act, Achieve)”の推進体制を整備し、進路について考察する学習活動をさせ、自己理解と変化する社会を認識することにより、「生きる力」の育成を目指す。